サバティ新聞

- 高知河ノ瀬版 -

2019.9月号

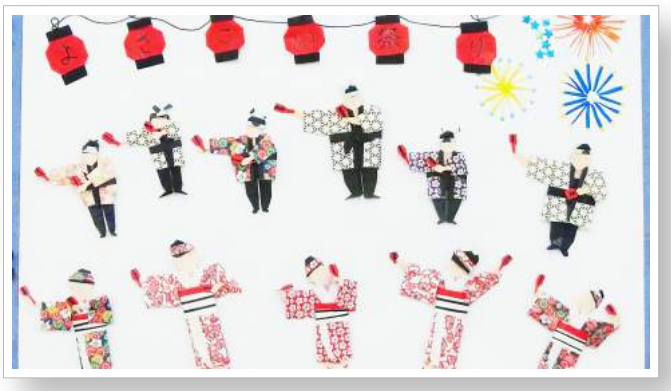
第66回よさこい祭り　無事終了

高知の夏といえば…よさこいです!!
8月9日の前夜祭を皮切りとし、本番・全国大会・後夜祭が4日間無事に終了。市内9か所の競演場と7か所の演舞場が、色鮮やかなよさこい一色に染まりした。
今年のエントリーは、207チーム・計1万8千人の踊り子さんが、華麗な舞で高知を舞い踊りました。
よさこい祭りの歴史は、戦後復興期であった昭和29年から始まりました。市民の沈滞したムードを一新させるために、阿波踊りのようにみんなが踊れるような永続性のある祭りを作ろうと、高知商工会が市や県に協力を要請し開催に至りました。
記念すべき1回目のチームは21チーム、750名。昭和32年から踊り子を先導する地方車が初登場しています。祭り開催中、市内のあちこちが演舞場へと大変身します。演舞を披露される様子は、「土佐のカーニバル」とも呼ばれています。

実は、よさこいには幾つかのルールがあります。
・1チームを150名以下で構成する
・音響機材を搭載した車（地方車・じかたしゃ）を1チームに1台用意
・鳴子を鳴らしながら前進する振付をする
・アレンジは自由だが、「よさこい鳴子踊り」の楽曲を1フレーズ入れる
この自由さが、全国によさこいが広まった四国三大祭りの理由だと言われています。観光・観客は100万人の人出で高知は賑わいます。
夏の風物詩・よさこいの余韻に浸りながら、今年の夏を乗り切りましょう。

ホールも夏真っ盛り!

白い壁の水槽を可愛い金魚が泳いでいます!
　　さんが、沢山折ってくださいました。
水草のアレンジを追加してみました。



　　さんからは、折り紙で作ったよさこいの
踊り子をいただきました。
すごい!の一言ですね。

出入り口のウエルカムボード、
素敵でしょ?
今回は、立体的なひまわりを
飾ってみました。

口腔体操の時、いつも顎や口を動かす運動で歌を
歌っています。利用者様に鳴子を持ってもらい、
よさこい鳴子踊りの唄を皆で歌いました。

9月生まれのご利用者の皆様おめでとうございます！

12日……　　18日……
26日……

空き情報はこちら
見学・体験、随時受付中！

月	火	水	木	金
○	○	○	○	○

・1日型：9:00～17:00
・半日型：9:00～12:15 / 13:30～17:00

どんなご相談でもお気軽にお問い合わせください！

電話 088-837-1081
ファックス 088-837-1082

CAVATY
機能回復リハビリスタジオ サバティ高知
サバティ高知河ノ瀬店
介護保険事業所番号
3970105585
〒780-8034
高知県高知市南河ノ瀬町1-2
https://www.cavaty.jp/